

一. 次の文章は慣用句についての説明です。( )  
 に言葉を入れて文章を完成させましょう。

・「火花を散らす」のように①( **いくつかの言葉** )  
 が組み合わさって、②( **新しい意味** ) を  
 もつようになった③( **決まり文句** ) を慣用  
 句といいます。

二. 次の慣用句の意味をあとから選んで、記号で答え  
 なさい。

① **雲をつかむような話** ( **イ** )  
 ア 夢に向かって前進する力強い話  
 イ ぼんやりしていて、とらえどころのない話  
 ウ つらいことをなぐさめるようなやさしい話

② **水を打ったような様子** ( **イ** )  
 ア 気のせいか少しだけすずしく感じる様子  
 イ だれも口をきかず、しんと静まり返る様子  
 ウ 急に話しかけられてびっくりする様子

③ **えりを正す** ( **ア** )  
 ア 心をひきしめ真面目なたいどになる  
 イ シャツ出しなどを注意する  
 ウ 落ち着いて深呼吸する

三. 次の言葉の中から、秋に関係が深いものを選び、す  
 べて記号で答えなさい。

- ア 山よそおう    イ 山したたる    ウ 山笑う  
 エ 山ねむる    オ 茶つみ    カ 新米  
 キ 落ち穂    ク 落ち葉    ケ はさ  
 コ せみしぐれ    サ 虫しぐれ    シ 枯れ野  
 ス 花ぐもり    セ ひがた

秋  
**アカキケサ**

四. 正岡子規・高浜虚子・中村汀女の中から一人を選  
 び、その人の俳句を一句、全てひらがなで書きな  
 さい。

作者 ( **例 中村汀女** ) ( )

**とにもとよ ふるるばかりに はるのつき**

五. □に当てはまる言葉を考えて、漢字しりとりを完  
 成させなさい。



六. 次の文を「くやしい気持ち」「うれしい気持ち」  
 になるように、( ) ( ) につなぎ言葉を入れな  
 さい。

- ① 一生けん命勉強した。( **しかし** )、八十  
 点だった。( **くやしい気持ち** )  
 ② 一生けん命勉強した。( **だから** )、八十  
 点だった。( **うれしい気持ち** )

七. 次の ( ) に言葉を入れて文章を完成させま  
 しょう。

- ① あのお店はおいしい。( **しかも** )、店長は  
 とても親切だ。  
 ② かれは、父の弟だ。( **つまり** )、わたしのおじ  
 だ。

③ デザートは、ちこにしますか。( **または** )、  
 バナナにしますか。

八. 教科書にのっている慣用句を一つずつ使って、文  
 を二つ作りなさい。

**高校生の姉は、一年生の弟の世話を焼くのが自分の仕事  
 だと思っている。**

**いつまでも油を売っていないで、部屋に戻って宿題をし  
 てしまおう。**